



ひと・まち・産業が躍動する「健康・交流都市 かのや」

広報

かのや



KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS



ばらの開花を祝って幼稚園児が合唱を披露

浜田町 / 4月23日

CONTENTS 目次

新型インフルエンザが世界的に広がっています	2
「はしか」に、ならない・させない	4
ふるさと納税の呼びかけをお願いします	6
今年も、ホテルの舞う季節がやってきました	8
子育てで支援の各種制度をご利用ください	10
地域サポート職員142人を配置	12
まちの話題	13
情報掲示板	18
広告の広場	23
鹿屋探訪④ 横尾岳公園	24

5
MAY. 2009
 平成21年5月13日発行
No.081

新型インフルエンザが世界的に広がっています

正確な情報に基づいた対応をお願いします

市では、メキシコやアメリカなどで人への感染が確認された「新型インフルエンザ」に関して、国や県の動きに合わせて鹿屋保健所などの関係機関と連携を図りながら対応を進めています。

今後も、市ホームページによる情報提供や電話相談窓口の開設などを行ってまいりますので、市民の皆さんは、正確な情報に基づいた冷静な対応と予防に努めてください。

また、「新型インフルエンザに感染したかな?」と思ったら、発熱相談センター（鹿屋保健所内 ☎0994-4313107）又は各電話相談窓口にご相談してください。

※このページに掲載した情報は5月1日現在の情報です。最新の情報は、テレビ・新聞・インターネットなどで入手し、その情報を参考に行動してください。

【問い合わせ】市健康増進課 ☎0994-41-2110

新型インフルエンザの予防方法

- 新型インフルエンザであつても、毎年冬に流行するインフルエンザの対策と基本は同じです。
- 帰宅後の手洗い・うがいを励行しましょう。
 - 咳・くしゃみなどの症状がある人は、必ずマスクをつけるなど咳エチケットを心がけましょう。
 - 栄養と睡眠を十分にとりましょう。
 - 室内の乾燥を防ぐために、適度な湿度を保ちましょう。
 - 人混みを避け、外出を控えましょう。

咳エチケットを心がけましょう

- 咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。
マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いします。
(マスクの着用は説明書をよく読んで、正しく着用しましょう)



鹿屋保健所までご連絡ください

38℃以上の発熱及び急性呼吸器症状があり、新型インフルエンザ患者などと接触したり、新型インフルエンザが流行している国や地域に行ったことがあるなどの場合は、まず、鹿屋保健所にご相談ください。受診する病院や受診方法をお教えします。

医療機関を受診する際は、必ず事前に連絡してください。事前連絡をしないで受診すると、新型インフルエンザであった場合、待合室などで他の患者に感染させてしまうおそれがあります。

病院を受診する際は、他の人に感染しないようにマスクをして行きましょう。

新型インフルエンザへの家庭での備え

新型インフルエンザが海外で大流行すると、様々な物資の輸入の減少・停止が予想され、新型インフルエンザが国内で発生した場合、食料品・生活必需品等の流通・物流に影響が出ることも予想されます。このため、災害時のように最低限（2週間程度）の食糧・日用品を備蓄しておきましょう。

食糧 (長期保存可能なもの) の例	主食類	○米 ○乾麺類(そば・ソーマン・うどん等) ○切り餅 ○コーンフレーク・シリアル類 ○乾パン
	各種調味料	
日用品・ 医療品の例	その他	○レトルト・フリーズドライ食品 ○冷凍食品(家庭での保存温度ならびに停電に注意) ○インスタント麺類 ○缶詰 ○菓子類 ○ミネラルウォーター ○ペットボトルや缶入りの飲料
	常備品	○常備薬(持病の処方薬・胃薬・痛み止め・その他) ○絆創膏(大・小) ○ガーゼ・コットン(滅菌のものとそうでないもの) ○解熱鎮痛剤(アセトアミノフェンなど) ※薬の成分によっては、インフルエンザ脳症を助長する可能性があることから、購入時に医師・薬剤師に確認しましょう。
	インフルエンザ対策の物品	○マスク(1人20枚から25枚程度) ○ゴム手袋(破れにくいもの) ○水枕・氷枕(頭や腋下の冷却用) ○漂白剤(次亜塩素酸:消毒効果がある) ○消毒用アルコール
	災害時のための物品 (あると便利なもの)	○懐中電灯 ○乾電池 ○携帯電話充電キット ○ラジオ・携帯テレビ ○カセットコンロ・ガスボンベ ○トイレトペーパー ○キッチン用ラップ ○アルミホイル ○洗剤(衣類・食器等)・石鹼 ○シャンプー・リンス ○ティッシュペーパー・保湿ティッシュ ○生理用品(女性用) ○ビニール袋(汚染されたごみの密封に利用)



※出典:「鹿児島県個人及び一般家庭・コミュニティ・市町村における新型インフルエンザ対策ガイドライン」

電話相談窓口

相談窓口	電話番号
厚生労働省	03-3501-9031
県保健福祉部健康増進課	099-286-2724
県農政部畜産課	099-286-3224
県危機管理局危機管理防災課	099-286-2256
鹿屋保健所	0994-43-3107 090-2391-9320(時間外)
志布志保健所	099-472-1021 080-5245-0476(時間外)
市健康増進課	0994-41-2110



鹿屋保健所と志布志保健所内に、発熱相談センターを併設しています。発熱のある人はご相談ください。

新型インフルエンザに関する情報

厚生労働省	http://www.mhlw.go.jp/	国立感染症研究所	http://www.nih.go.jp/niid/index.html
県	http://www.pref.kagoshima.jp/	市	http://e-kanoya.net/

「はしか」に、ならない・させない

「はしか」・風しん混合ワクチンで2回目の接種を受けましょう

はしか(麻疹)は小さい頃に受けた予防接種1回だけでは防げないことがあることをご存じですか。今回は、2回目の予防接種の重要性を紹介します。

【問い合わせ】

市健康増進課 ☎0994-41-2110



協力医療機関での麻疹・風しん混合ワクチン接種の様子

「はしか」とは?

はしかの正式な病名は「麻疹」と言い、ウイルスが原因となって発病する感染症のひとつです。

麻疹は、麻疹ウイルスを含むせきなどのしぶきを受けたり、空中を浮遊するウイルスの吸入を受けて感染しますが、感染力が非常に高く、感染者と同じ部屋にいただけでうつると言われています。

高熱や発しん、強いせきなどの症状が特徴ですが、肺炎や脳炎を併発するなど、重症化する危険性も高く、今でも後遺症が残る人や死亡する人がいるなど甘く見てはいけな病気で

「麻疹」の予防接種

日本では昭和53年に麻疹ワクチンの定期接種が開始され、就学前にワクチン接種を受ける子どもが増えましたが、全員が接種を受けているわけではありません。

また、1回の予防接種では麻疹ウイルスに対応する免疫が育たない場合や、

年数が経過することで免疫がしだいに弱まることから、1回接種したからといって決して安心はできません。

日本でも、何度か「麻疹」が大流行しています。

最近では、平成13年に20〜30万人の患者が発生し、平成19年にも首都圏を中心に爆発的に流行しました。このとき患者の多くを占めたのが15歳から29歳の若者層でした。若い人は行動が活発なこともあり、「麻疹」が爆発的に広まったものと考えられます。

「麻疹」が大流行すると学校閉鎖を余儀なくされたり、免疫を十分にもっていない人や妊婦さんなどは、人が多く集まる場所への外出を控えなければならなくなるなど、社会生活にも大きな影響が出てしまいます。

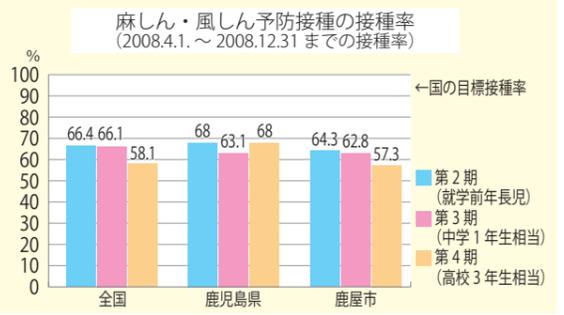
最近では、世界のほとんどの地域で、麻疹ワクチンの2回接種が主流となっていて、ワクチン接種が1回なのは日本などの1割程度の国でした。日本でも平成18年度から

2回のワクチン接種が始まりましたが、接種率はまだ十分ではなく、対象者の5人に1人が受けていない状況です。

日本がはしかの輸出国と指摘されることのないように、確かな「麻疹対策」が求められているのです。

「麻疹」の予防対策

ここ数年の若者層を中心とした「麻疹」の流行を受けて、国では、「麻疹」をゼロに近づけるため「麻疹」に関する予防指針を制定しましたが、その柱



となったのが青少年を対象とした予防接種やすべての麻疹患者の把握の実施です。

例えば予防接種については、平成20年度から5年間、毎年13歳と18歳になる年度の1年間を対象に、「麻疹」の予防接種を行います。この時に、「麻疹」と並んで「風しん」への対策も加え、「麻疹・風しん混合ワクチン」を使うこと



「麻疹」は、いったんかかってしまうと症状をおさえるための対処療法しか治療法がないため、予防対策が大切になります。ぜひ、「麻疹・風しん混合ワクチン」で2回目の接種を受けましょう。

◆平成21年度の定期予防接種の対象者

- ①平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれの人 (中学1年生に相当する年齢の人)
- ②平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれの人 (高校3年生に相当する年齢の人)

◆接種方法

接種の際は、お手持ちの予診票と母子健康手帳を医療機関へご持参ください。ただし、保護者が同伴をしない場合は、市保健相談センターで新たに予診票の交付を受けてください。

◆接種期間

平成22年3月31日まで ※接種は「6月までが望ましい」となっています。

◆接種費用 = 無料

■注意事項

- ①妊娠している人は、接種できません。また、接種後2か月間は妊娠を避ける必要があります。
- ②定期予防接種は、市内の実施医療機関 (案内済み) で接種してください。市外で、接種を希望する場合はお問い合わせください。
- ③予診票を紛失した人は、母子健康手帳を持って市保健相談センターにおいでください。

【問い合わせ】市健康増進課 ☎0994-41-2110

県外の親戚や友人などへ ふるさと納税の 呼びかけをお願いします

「ふるさとを応援したい」「ふるさとに貢献したい」という一人ひとりの思いを、「寄附金」という形で応援していただく「ふるさと鹿屋応援寄附金（ふるさと納税制度）」がスタートして1年が経過しました。この1年間に、県外に在住している市出身者等の皆さんから、鹿屋市に対し貴重な寄附をいただきました。今回は、これまでの取り組みと寄附金の状況についてお知らせします。

鹿屋市の取り組み状況（ふるさと鹿屋応援寄附金）

市では、昨年5月に「ふるさと・かのや応援サイト」を市のホームページ上に開設し、「ふるさと納税制度」の情報を広く発信しています。また、市民の皆さんからご紹介いただいた方へのパンフレット送付や、県外の「ふるさと会」等の総会へ出席し、「ふるさと納税」に対するご理解とご協力を願うなど、積極的なPRに努めました。平成20年度は、市に直接申し込まれた51人と、県を通じて申し込まれた21人の計72人の方から400万円を超える寄附金をいただきました。※ふるさと納税により、市のまちづくりを応援していただいた皆さんに、感謝の気持ちを込めて、心ばかりのお礼をさせていただきます。

鹿児島県の取り組み（かごしま応援寄附金）

県では、県内市町村と県が一体となって、かごしま応援寄附金募集推進協議会を設立し、県外在住の県出身者の方々などへの「かごしま応援寄附金」の募集を行っています。

「かごしま応援寄附金」に寄附された場合は、寄附金額の6割が市町村に配分されます。※県東京事務所、かごしま遊楽館、県大阪事務所、県福岡事務所でも手続きができますので、ぜひ、ご利用ください。

ふるさと納税制度とは？

「ふるさと納税制度」とは、応援・貢献したい県や市町村に5,000円を超える寄附を行った場合、一定の限度額まで個人住民税や所得税が軽減される制度です。

4つの事業で

ふるさとづくり

鹿屋市では、ひと・まち・産業が躍動する「健康交流・都市 かのや」を将来都市

像に、個性豊かで魅力ある拠点性の高い都市づくりを進めています。この将来都市像に向け、寄附者には「ふるさと鹿屋応援寄附金」へお申込みの際に、その用途について左記の4つの事業から選択していただき、現在、大切に管理・運用しています。今後は寄附者の想いが確実に各事業に反映されるよう、大事に活用してまいります。

いつまでも

心のふるさとで あり続けたい……

「ふるさと納税」の魅力は、県外にいながら、自分のふるさとや、大好きなまちを応援できることです。幼いころや若いころに過ごした「雄大な自然」や「心に残る景色や風景」、ふと立ち寄って知った「人の温もり」など、その時の感動が鮮明な思い出として「郷愁の地」、「再来の地」を思い起こさせてくれます。この素晴らしい地域文化や生活スタイルを後生に残し、そして未来へ夢をつないでいけるよう、これからは鹿屋市は誇りに思えるふるさとづくりに取り組んでいきます。

市民の皆さんへのお願い

県外にお住まいの家族や親戚、友人、知人の方々に、ぜひ、この制度のPRや寄附の呼びかけをお願いします。※寄附金申込みによる個人情報については、ふるさと鹿屋応援寄附金事務以外に使用しません。

◇事業ごとの寄附状況◇

使途事業	寄附者数	寄附額
①地域の資源を生かした 「地域経済活性化事業」	17人	826,000円
②健康・福祉の充実による 「すこやか・あんしん事業」	11人	373,000円
③教育・文化・スポーツの振興による 「人材育成事業」	16人	1,935,000円
④豊かな自然を次代に引き継ぐ 「環境保全事業」	6人	222,000円
◆指定なし (指定なしの場合、いずれかの事業に活用します)	24人	1,017,200円
合計	74人	4,373,200円

※1回の寄附で複数の事業を指定できますので、実際の寄附者数よりも2人多くなっています。

「ふるさと鹿屋応援寄附金」に直接申し込む場合の手続方法

寄附の手順

- ①市ホームページ等で「ふるさと鹿屋応援寄附金申込書」を入手してください。
- ②申込書に必要事項を記入し、市税務課へ郵送・FAX又はEメールでお申込みください。
- ③市税務課から「払込通知書」を送付します。
- ④金融機関等で、寄附金をお払込みください。
- ⑤市税務課から「寄附金受領証明書」を送付します。

税金控除の手順

- ⑥寄附した翌年に、最寄の税務署等で「確定申告」を行ってください。※「寄附金受領証明書」が必要です。
- ⑦「所得税」が還付されます。
- ⑧翌年度の「住民税」の税額が軽減されます。※還付はありません。

【問い合わせ】

〈鹿屋市〉

- ◎市企画調整課（制度全般） ☎ 0994-31-1125
- ◎市税務課（寄附申込） ☎ 0994-31-1112
- ◎ふるさと・かのや応援サイト <http://www.e-kanoya.net/htmlbox/kikaku/furusatonouzei.html>

〈かごしま応援寄附金募集推進協議会〉

- ◎県財政課財産活用対策室 ☎ 099-286-2169
- ◎県大阪事務所 ☎ 06-6341-5618
- ◎県東京事務所 ☎ 03-5212-9060
- ◎県福岡事務所 ☎ 092-441-2852
- ◎かごしま遊楽館 ☎ 03-3506-9177
- ◎県ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

※「ふるさと鹿屋応援寄附金（ふるさと納税）」をかたった、寄附の強要や不当な請求などの詐欺行為には十分ご注意ください。鹿屋市が訪問、電話等で寄附を強要したり、ATMの操作願いをするようなことは一切ありません。



池田病院デイサービスセンター広場



今年も、ホタルの舞う季節がやってきました

今年もホタルの幻想的な舞を観に出かけてみては、いかがですか。

輝北町 平房ホタルの里
5月上旬～



吾平町 川西中集落
5月中旬～



吾平町 赤野集落
5月中旬～



吾平町 めだか公園
5月上旬～



南町 清水川ホタルの里
5月中旬～



下萩町 池田病院デイサービスセンター広場
5月上旬～



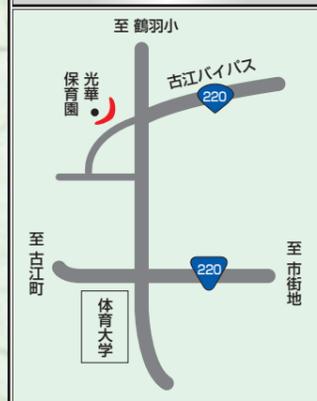
串良町 甫木池付近
5月上旬～



串良町 中郷ホタルの郷
5月上旬～



花岡町 ホタルの里花岡
5月上旬～



大始良町 平岡川ホタルの里
5月中旬～



王子町 和田井堰ホタルの里
5月上旬～



川東町 光同寺池ホタルの里
5月上旬～



ホタルが生息できるのは、きれいな水と豊かな緑のある場所です。今、一人ひとりの環境への配慮と優しさから、昔懐かしいホタルの光が、よみがえっています。ゆるやかな川の流れのよ

その光を放つ期間は十日ほどと非常に短いですが、何百匹ものホタルがあちらこちらで輝きを放つ様子は、幻想的です。今回は、市内の代表的なホタルスポットを紹介しま

※気象状況や天候により、観賞できない場合があります。

清水川ホタルの里 (南町)

子育て支援の各種制度をご利用ください

一時保育



対象児童

保護者の疾病や出産、事故等で、緊急・一時的に保育ができなくなった児童が対象です。
また、保護者の育児等による負担解消などの私的な理由でも利用できます。

保育時間及び期間

昼間のみの利用で、その理由により必要となる期間

利用方法

希望する保育園に直接お申込みください。
※下記以外の保育園でも、自主的に一時保育を実施しています。
実施の有無については、各保育園にお問い合わせください。

保護者の疾病などのために、緊急・一時的に子どもの保育ができなくなった場合に、昼間のみ子どもを預かり、保育します。

実施園及び利用料金（おやつ代等、別途料金が必要になる場合があります）

保育所名	電話番号	時間	利用料金
鹿屋地区	松下保育園 (西原1丁目)	0994-42-2769	8:00～17:00 4時間以内=1,000円/日 超過1時間=0～3歳:250円 4～5歳:200円
	高隈保育園 (上高隈町)	0994-45-2039	7:30～18:00 1日=0歳:2,000円 1～2歳:1,600円 3歳以上:1,000円
	光華保育園 (花岡町)	0994-46-3764	8:30～17:30 1時間=0歳:350円 1～2歳:300円 3歳:250円 4歳以上:200円
	わかば保育園 (寿4丁目)	0994-44-5234	8:00～17:00 午前=1,000円 午後=1,000円
串良地区	ひばり保育園 (串良町細山田)	0994-62-3377	7:00～18:00 4時間以内=1,000円/日 4時間超=2,000円/日 ※1歳3か月未満児の預かり時間 8:30～17:30
	洗心保育園 (串良町有里)	0994-63-9192	7:30～18:30 半日=1,000円 1日=2,000円
	ふたば保育園 (串良町下小原)	0994-63-2620	7:10～18:40 4時間以内=1,000円/日 超過1時間=0～3歳:250円 4～5歳:200円

市では、子どもの健全な育成や子育てしやすい環境づくりのため、様々な子育て支援を行っています。
子育ての負担を軽減できる各種制度を、ぜひ、ご利用ください。
【問い合わせ・申請先】
子育て支援課（1階⑩・⑪番窓口） ☎0994-31-1134

シヨイトステ



対象児童

保護者の疾病や仕事、冠婚葬祭などで、緊急に保育ができなくなった児童が対象となります。

実施場所

2歳未満の児童

鹿屋乳児院（寿8丁目）
☎0994-42-12531

2歳以上の児童

大隅学舎（西原2丁目）
☎0994-43-6229

時間及び期間

24時間体制で、最長1週間（延長可）

利用方法

子育て支援課又は各総合支所市民生活課で、利用申請をしてください。
※利用児童の保険証の写しが必要です。

保護者の急な疾病などで緊急に児童の保育ができなくなった場合に、鹿屋乳児院又は大隅学舎で一定期間子どもを預かり、保育します。

利用料金（1日あたり）

区分	保護者負担金	
	2歳未満の児童	2歳以上の児童
市民税非課税世帯	1,100円	1,000円
市民税課税世帯	5,350円	2,750円



児童手当



小学校6年生までの児童を養育している人に支給します。
ただし、所得制限があります。

支給額

1人目 5,000円
2人目 5,000円
3人目 10,000円
※3歳未満は、1人目・2人目とも10,000円

児童手当を受けている人は、所得や現況を確認するため、毎年6月に「現況届」を提出する必要があります。
現在受給中の人には文書で通知します。



平成20年度所得制限限度額

扶養親族等の数	所得制限限度額	収入額の目安
0人	460.0万円	652.5万円
1人	498.0万円	695.6万円
2人	536.0万円	737.8万円
3人	574.0万円	780.0万円
4人	612.0万円	822.2万円
5人	650.0万円	864.4万円

厚生年金など加入者の場合、特例により以下の限度額が適用されます。

扶養親族等の数	所得制限限度額	収入額の目安
0人	532.0万円	733.3万円
1人	570.0万円	775.6万円
2人	608.0万円	817.8万円
3人	646.0万円	860.0万円
4人	684.0万円	902.2万円
5人	722.0万円	944.4万円

「収入額の目安」は、給与収入のみで計算していますので、ご注意ください。

（注1）所得税法に規定する老人控除対象配偶者又は老人扶養親族がある人についての限度額（所得額ベース）は、上記の額に該当老人控除対象配偶者又は老人扶養親族1人につき6万円を加算した額。

（注2）扶養親族等の数が6人以上の場合の限度額（所得額ベース）は、1人につき38万円（扶養親族等が老人控除対象配偶者又は老人扶養親族であるときは44万円）を加算した額。

※所得が所得制限限度額以上の場合、児童手当等は支給されません。

支払時期

児童手当等は、原則として、毎年2月、6月、10月に、それぞれの前月分までが支給されます。

所得制限限度額

所得には一定の控除があります。また、所得制限限度額は年によって変更されることがありますので、詳しくは子育て支援課へお問い合わせください。

認定請求

出生、転入等により新たに受給資格が生じた場合、児童手当を受給するには、子育て支援課（公務員の場合は勤務先）に「認定請求書」の提出が必要です。

「認定請求書」を提出し、市の認定を受けなければ、児童手当を受ける権利が発生しません。児童手当は、認定請求をした日の属する月の翌月分から、支給事由の消滅した日の属する月分まで支給されます。なお、転入又は災害などやむを得ない理由により認定請求ができなかった場合には、そのやむを得ない理由がやんだ後、15日以内に認定請求すれば、転入等の日に属する翌月分から支給されます。

乳幼児医療助成金

小学校就学前の乳幼児にかかる医療費のうち、保険診療による自己負担分の一部を助成します。

乳幼児の医療に要した費用のうち、保険診療に係る自己負担額を助成します。事前に受給者の登録が必要です。

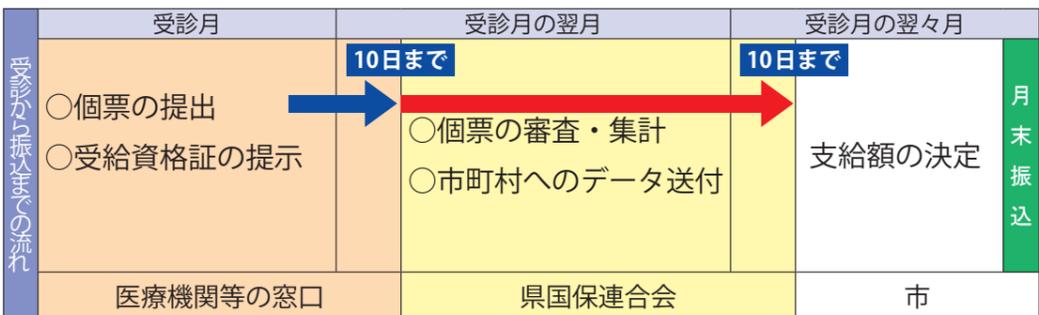
助成額

3歳未満 全額助成
3歳～小学校就学前 月額3,000円を超える額を助成

申請方法

健康保険証、受給資格者証を提示し、「自己負担額支払明細票」を医療機関等へ提出してください。

○「自己負担額支払明細票」は、各医療機関等の窓口にも置いてあります。必要事項を記入してあるものであればコピーの提出も可能です。



※助成金の振込は、受診月の2か月後の月末になります（3月診療分は5月31日振込）。

串良

平和公園の桜を満喫 ～2009 くしら桜まつり～

KUSHIRA



3月28日から4月12日にかけて、串良平和公園で「2009 くしら桜まつり」が開催されました。

今年の桜は、例年より早い開花となりましたが、期間中、夜桜ちょうちん設置やライトアップなどが行われたほか、4月3日から5日は歩行者天国となり、桜を目当てに市内外から花見客が訪れました。

また、4月5日には「くしら桜まつりジョギング大会」が開催され、4種目に821人がエントリー。参加者は、あいにくの天気の中、沿道の声援を受けながら、桜並木のトンネルを懸命に走り抜け、健脚を競っていました。各種目の優勝者は次のとおり（敬称略）

ジョギング大会優勝者

【1 km男子】	野村昭夢、今村皇陽
【1 km女子】	榎園彩華、松永珠緒
【2.5 km男子】	今村彪雅、末満博也、原口慎二、眞鍋宏樹、竹之内弘文、志水幸一、中原信一、春蘭清文
【2.5 km女子】	日高蓮、平野優、竹井夏紀、吉村昌子、堀直美、川平政子、関屋悦子、有村ユリ子
【5 km男子】	野村峻哉、三島顕祐、関口実、原口良人、本坊佳満、有川貞夫、斉藤和洋
【5 km女子】	三島蓮、大中原麻衣、木佐木みどり、野元かおる、平田和代、瀬戸千鶴子、深野木隆子
【10 km男子】	平山賢一、吉田幸三、田原稔、貞莉和哉、齋藤憲夫
【10 km女子】	平さより、黒木秀子、中村三和、黒木ひとみ、松永啓子

鹿屋

鹿屋の食材を堪能 ～鹿屋体育大学新生歓迎会～

KANOYA



4月6日、リナシティかのや前のイベント広場で、恒例となっている「鹿屋体育大学新生歓迎会」が開催されました。これは、体育大学の新生に一日も早く地域に溶け込んでもらおうと「地域づくり交流事業実行委員会」が毎年行っているもので、今年で13回目。歓迎会では、小林正義会長が「早く鹿屋に慣れて、鹿屋の良さを全国に情報発信していただきたい」とあいさつを述べました。また、乾杯のあと、かのやカンパチや鹿児島黒牛、黒豚など、地元食材を使った料理が振る舞われ、参加した新生210人は鹿屋の味を堪能していました。

輝北

雄大な景色を満喫 ～輝北・グリーンハイキング～

KUHOKU



4月29日、輝北うわば公園で「輝北・グリーンハイキング」が開催されました。

これは、輝北うわば公園の雄大な景色と春のさわやかな新緑を満喫しながらウォーキングしてもらおうと毎年行われているもので、当日は、市内外から146人が参加。参加者は、4kmと8kmのコースを思い思いのペースで歩き、春のハイキングを楽しんでいました。

終了後は、地元特産品やバンガロー宿泊券などが当たる抽選会も行われ、当選者には大きな拍手が送られていました。

地域一体となり地域力向上へ 地域サポート職員142人を配置



3月30日、行政と地域との架け橋となるために、ボランティアで地域活動に参加する「地域サポート職員発足式」が行われました。

これは、県内初の試みで、市が推進する「共生・協働で進めるまちづくり」の一環として、地域行事への積極的な参加や町内会運営の手助けなど地域活動に取り組むもの。職員を代表して、吾平総合支所地域振興課下村課長補佐が「地域住民とのパイプ役となり、一市民として積極的に地域活動に参加し、地域コミュニティの活性化に寄与したい」と決意表明を行いました。

市では、平成20年度に策定された鹿屋市総合計画の重点施策でもある「共生・協働で進めるまちづくり」の推進に取り組んでいます。しかし、少子高齢化の進展や市中心部への人口集中による周辺部の過疎化などにより、町内会活動などの地域活動が危機的状況にあります。そこで、地域一体となり、地域力向上へ、市職員自らが積極的に地域活動に参加して、地域との連携を深め、地域住民とのパイプ役として地域活動を行う地域サポート職員を配置しました。

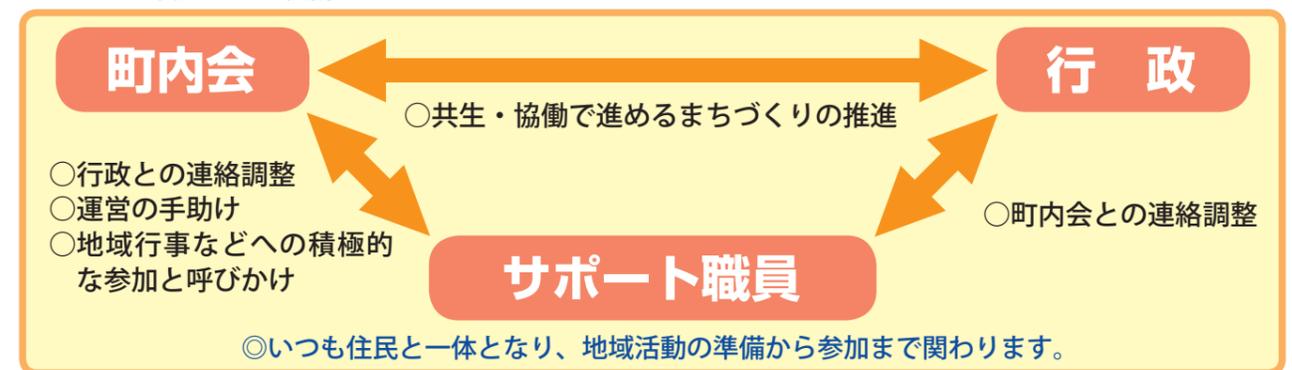
●配置箇所と人員

地区	配置箇所	人員数
鹿屋地区	50	61
吾平地区	10	25
輝北地区	4	15
串良地区	30	41
計	94	142

●地域サポート職員とは

市職員の代表として、日頃から地域に溶け込み、地域の実情を知り、地域住民とともに地域コミュニティの活性化に寄与することを目的に、地域に住む他の職員にも呼びかけながらボランティアで地域活動に取り組むものです。

●サポート職員の主な役割



サポート職員のスローガン

まずは、できることからやってみよう。
やってみてからみんなと語ろうではないか。
今がその時ではないか。

【問い合わせ】市民活動推進課（5階） ☎ 0994-31-1147

カ **ばらの開花を宣言**
～かのやばら祭り2009春～



4月23日、かのやばら園で、「ばらの開花宣言」が行われました。当日は、海上自衛隊鹿屋基地のヘリコプターによる祝賀飛行や南部幼稚園の園児による歌などが披露されたあと、ばらの開花を宣言。最後に、くす玉を割って開花を祝いました。今年のばらは、天候の影響などで例年より一週間ほど早く開花。ゴールデンウィーク期間中に満開を迎えましたが、6月下旬まで楽しむことができます。なお、「かのやばら祭り2009春」は6月7日まで開催されています。

鹿屋 **カサゴの稚魚**
10,000匹放流



4月24日、古江町の古江漁港の沖合で、ふ化後3か月のカサゴの稚魚10,000匹の放流が行われました。これは、資源の保護や生産の増大、採る漁業から作り育てる漁業への移行などを目的に市と漁協が共同で行なったもので、今年で6年目。関係者が、カサゴの成長を願いながら放流すると、元気よく海を泳いでいきました。

鹿屋 **平和の誓い新たに**



4月4日、今坂町の小塚公園で、「旧鹿屋航空基地特別攻撃隊戦没者追悼式」が行われ、全国各地から遺族や元隊員など約450人が参列しました。この追悼式は、国内最大級だった旧海軍鹿屋航空基地から特別攻撃隊として出撃していった16歳から35歳の隊員908人の御霊を慰めようといわれているもので、今年で52回目。式典では、参列者全員で国歌を斉唱した後、特別攻撃作戦などで戦死した御霊に黙祷を捧げました。山下市長は「隊員の無念を想う時、深い悲しみが込み上げ、ご遺族の長年の幾多の労苦と心情を思うと胸が痛む。恒久平和の実現に努力することを誓う」と式辞を述べました。その後、桜の花が舞う中で、参列者による献花に続いて遺書朗読、生存者による「同期の桜」の合唱が行われ、戦没者の冥福を祈り、不戦と恒久平和の誓いを新たにしました。

式辞を述べる山下市長
特攻隊員の冥福を祈って献花する全国から駆けつけた遺族
慰霊碑に向かって行われた儀仗隊による弔銃



遺書朗読に涙する参列者

輝北 **畜産振興を祈願**
～日枝神社畜産まつり～



4月12日、輝北町市成で「日枝神社畜産まつり」が開催されました。このまつりは、牛馬の神として知られ「山王どん」の愛称で親しまれている日枝神社で、畜産振興を祈願して毎年行われているもの。まつりでは、カラオケや踊りが披露されたほか、弓道大会や三味線演奏などが行われ、訪れた約3,000人が春のまつりを楽しみました。また、畜産まつり恒例の抽選会では、宮下里美さん（輝北町市成）が特賞の黒毛和牛の子牛1頭を見事引き当て、観客の拍手を浴びていました。

吾平 **早期水稻の田植えを体験**
～鶴峰小学校全校児童～



4月7日、吾平町の鶴峰小学校近くの田んぼで、鶴峰小学校全校児童77人が、早期水稻の田植えを体験しました。これは、米作りを通して豊かな人間性を育てようと毎年行われているもの。当日は、全員で広さ300㎡の水田に入り、一列に並んで田植えを行いました。参加した子どもたちは、初めは泥の感触に慣れずに大騒ぎでしたが、最後は「おいしいお米に育てて」と願いながら一生懸命に苗を植えていました。今年の米作りは、3・4年生が専門家から意見を聴きながら、自分たちで耕作計画を立て、無農薬栽培に取り組んでいます。

鹿屋 **70年間の思いかなえる**
～公園に桜13本を植樹～



4月16日、王子町の和田井堰公園で桜の寄贈式が行われ、敷地24,300㎡のうち東側2,000㎡にソメイヨシノ13本が植樹されました。寄贈したのは、王子町在住の木佐貫さん（78歳）。木佐貫さんが8歳当時、父親と今坂町の柳水源地に桜を植樹したところ、地域の憩いの場となった思い出があり、それ以来70年間、「父親と同様に、地域の憩いの場所に桜を植樹したい」と思い続け、その思いを今回かなえたもの。木佐貫さん夫婦は「来春には大勢の花見客で賑わうと嬉しいです」とにこやかに話してくれました。

鹿屋 **灯籠を流し平和を願う**



4月4日、リナシティかのや前の肝属川で、太平洋戦争中に旧海軍鹿屋航空基地から飛び立った特攻隊員の霊を慰める灯籠流しが行われました。この企画は、「特攻隊追悼灯籠流し市民有志の会」が特攻の歴史を後世に伝えようと、5年前から行われているもので、今年は、県内外から約50人のボランティアが参加して運営に協力。会場には、戦没者の遺族や関係者など多くの方が訪れ、戦没者908人の名前が書かれた灯籠200個が、川面を照らして流れる様子を見つめながら、戦争の悲惨さを風化させることのないようにと改めて平和を願いました。

鹿屋 **KANOYA**
6年ぶり 全国3位
～鹿屋中央高校レスリング部～



3月に新潟市で行われた「第52回全国高等学校選抜レスリング大会」の団体戦で3位入賞を果たした鹿屋中央高校レスリング部が、4月17日、市役所を表敬訪問しました。

同大会の県勢3位入賞は、平成14年度の同校準優勝以来6年ぶりの快挙。また、個人戦では、120キロ級の明野達也さん（3年）が見事3位入賞を果たしました。同部は、これまでも様々な大会の団体戦で全国2位に6回、3位に8回輝いており、個人戦でも、全国チャンピオン18人、アジアチャンピオン1人を輩出しています。

山下市長は、選手一人ひとりと握手を交わし「がんばれ」と激励の言葉をかけ、選手達は、「インターハイに向けて練習に励み、大会で上位を目指します」と今後の抱負を話してくれました。

輝北 **KITOKU**
高齢者のために
踏み台寄贈



4月10日、市役所で「在宅高齢者用踏み台贈呈式」が行われ、鹿屋市建具木工組合から市に踏み台48台が寄贈されました。

これは、同組合が足腰の弱い高齢者に、玄関や台所などでの転倒防止に役立ててもらおうと、建具の日（4月10日）に合わせて、毎年行われているもの。今年が9年目で、これまで408台の踏み台が寄贈されています。

輝北 **KITOKU**
スプレー菊
栽培研修が修了



4月3日、輝北農業研修管理棟で、財団法人輝北町農業公社が実施している研修事業の修了式が行われました。

式には、2年間のスプレー菊の栽培研修を終え、輝北地区で新規に就農する第8期研修生の2人とその家族が出席。2人は「研修で学んだことを活かして、早く一人前の農家になりたい」と抱負を話していました。

輝北 **KITOKU**
子牛35頭が入牧



4月22日、市鳴之尾牧場で入牧式が行われ、生後6～12か月令の子牛35頭が緑豊かな牧草地に放牧されました。

標高約480～550mにある総面積70.9haの鳴之尾牧場は、昭和41年の開設以来、約2,600頭の子牛を育成してきました。同牧場に放たれた子牛は、起伏に富んだ傾斜地で足腰が鍛えられ、自家育成牛に比べ乳量や出産回数が増え、耐用年数も1年以上長くなります。放牧期間は1年～1年半ほどで、受精卵移植や人工授精で受胎後、分娩の2～3か月前に各酪農家に里帰りします。

鹿屋 **KANOYA**
42人が合同入社式



4月10日、鹿屋商工会議所で「平成21年度鹿屋市中小企業合同入社式」が行われ、市内12事業所に就職した42人が出席しました。

式典では、岡崎継義鹿屋商工会議所会頭が「職場に愛着を持ち、全力で仕事に取り組んでほしい」と激励。また、新入社員を代表して畑中真希さんが「今日の気持ちを忘れずに努力を続けます」と決意の言葉を述べました。

輝北 **KITOKU**
交通事故から
子どもを守る



4月6日、入学式が行われた市内の各小学校で「新入学児童ピカピカ作戦」が行われました。

これは、市内の新入学児童全員に黄色い帽子など交通事故防止グッズを配り、児童を交通事故から守ろうと毎年行っているもの。細山田小学校では、関係者が新入学児童に「入学おめでとう」などと声をかけながら、交通事故防止グッズを配っていました。

輝北 **KITOKU**
50チームが
練習の成果を競う



4月11日、輝北町上百引の輝北運動場で「第21回加瀬田ヶ城旗争奪ゲートボール大会」が開催されました。大会には、大隅半島全域から50チーム285人が参加。参加者は親睦を図りながら、日ごろの練習の成果を競い合いました。結果は次のとおり

- 【優勝】 仮宿上チーム（大崎町）
- 【2位】 天心チーム（志布志市）
- 【3位】 椿チーム（鹿屋市）

鹿屋 **KANOYA**
絶景ビューポイントが誕生
～花岡町「高千穂公園」開園～



4月19日、花岡町で「高千穂公園完成開園式」が行われました。

これは、県が県営中山間地域総合整備事業を導入して、花岡中校区全体の住民を対象に健康づくりや地域の行事が開催できる集いの場として整備したもの。当日は、神事やテープカットなどを行い、関係者全員で完成を祝いました。

同公園は、面積約15,000㎡で芝生広場、展望所、休憩所などが整備されており、公園からは桜島や開聞岳、眼下には古江港と錦江湾が望め、新たな絶景ビューポイントが花岡地区に誕生しました。

鹿屋 **KANOYA**
「ばらようかん」と「ばらせんべい」
の販売始まる



野里カンナ起業グループが開発した「ばらようかん」と「ばらせんべい」の販売が、4月23日から開始されました。2つの商品は、同グループが約4年かけて商品化したもので、どちらもかのやばら園で無農薬栽培された「ばら」を使用。「ばらようかん」は、ほのかなばらの香りと控えめな甘さが特徴で、「ばらせんべい」は、ほのかな桜色が特徴です。現在、かのやばら園売店、市観光物産センター、野里食品加工センターで販売しており、「ばらようかん」は1パック290円、「ばらせんべい」は、お茶や芋のせんべいと一緒1袋200円で販売しています。

Information

情報掲示板

2009 5月							2009 6月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
					1	2			1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					
31														

ける事業費

●補助率 補助対象経費の2分の1以内の額

①限度額 100万円

②限度額 50万円

●応募期限 7月10日(金)

●応募方法など詳しくは、お問い合わせください。

【問い合わせ・応募先】
市商工振興課(2階)
☎0994-31-1164

●ごみ分別指導員(嘱託職員)を募集

●応募条件 普通自動車免許を有する人

●業務内容 各み分別出前講座、ごみ減量・リサイクルの指導

●雇用期間 6月1日(月)～平成22年3月31日(水)

●社会保険、雇用保険に加入

●賃金 月額154,700円

●募集人員 1人

●応募方法 市販の履歴書に写真を貼って、直接持参又は送付してください。

●応募期間 5月18日(月)～27日(水)

※必着

●面接日時 5月28日(木) 9時30分

●面接場所 市役所6階605会議室

●勤務条件など詳しくは、面接時に説明します。

【問い合わせ・応募先】
〒893-8501
鹿屋市共栄町20番1号
市生活環境課
☎0994-31-1115

●職業訓練指導員免許講習の受講生を募集

●期日 7月28日(火)～30日(木)、8月4日(火)～6日(木)の6日間

●時間 9時～17時

●場所 鹿屋島高等技術専門学校

●受講資格

○技能検定(国家資格)1級・単一等級合格者

○職業能力開発校修了者で6年～10年の実務経験者

○学校教育法による免許職種に関する学科を修めた人で、大卒者2年、短大・高専卒者4年、高卒者7年の実務経験がある人

●受付期間 6月1日(月)～12日(金)

※必着

募集・申請

地場産業振興補助制度の利用者を募集

地場企業等が行う新製品(新技術)開発・需要開拓等の事業に地場産業振興補助金を交付する、地場産業振興補助制度の利用者を募集します。

●対象者 市内に主な事業所があり、中小企業基本法第2条に規定する中小企業者若しくは中小企業者で構成された団体又は地域グループ

●補助内容

①新製品、新技術等の開発事業

○新製品、新技術、デザイン開発、製品改良又は生産方式の改善に関する基礎研究費

○実用化試験等の試験事業費、試作品の制作費

②需要開拓事業

○展示会の開催

○見本市への参加のためのパンフレットの作成

○専門コンサルタントへの委託等による需要開拓に関する調査及び指導を受ける

●定員 30人(定員になり次第締め切り)

●受講料 13,500円 ※テキスト代含む

●受講案内、受講申請書の請求方法など詳しくは、お問い合わせください。

【問い合わせ・申請先】
県職業能力開発協会
☎099-226-3240

●お知らせ

●農業委員会委員選挙立候補予定者説明会を実施

●農業委員会委員選挙立候補予定者説明会を開催します。立候補を予定している人は、必ず出席してください。

●日時 5月26日(火) 13時

●場所 市役所7階大会議室

●持ってくるもの 認印

【問い合わせ】
市選挙管理委員会(5階)
☎0994-31-1142

特定健康診査・特定保健指導を受診して健康づくりに努めましょう

特定健診・特定保健指導は、皆さんが加入している国民健康保険などの医療保険者が行うことが義務づけられおり、40歳から75歳未満の被保険者・被扶養者(扶養されている家族)が対象となります。

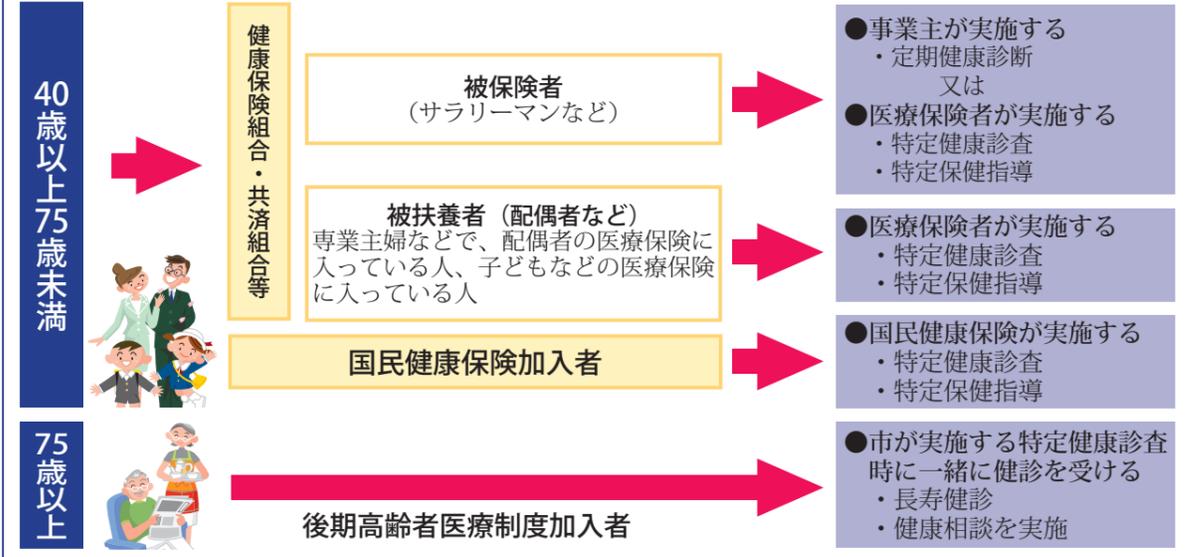
特定健診を年に1回は受診して健康づくりに努めましょう。

※国民健康保険加入者を対象とした特定健康診査は、各地区公民館等での集団健診、医療機関などでの個別健診を実施します。今後の日程については、後日配布する健康スケジュール表をご覧ください。

※特定健康診査の受診を希望する人は、加入する保険者から受診券や健診案内が届きます。

特定健診・特定保健指導は、メタボリックシンドロームに該当する人やその予備群を健診で見つけ、糖尿病などの生活習慣病の発症や重症化を防ぐために、生活習慣の改善のための支援を行います。

特定健康診査・特定保健指導を年に1回は受診しましょう



【問い合わせ】市健康増進課 ☎0994-41-2110

鹿屋市地域包括支援センターをご利用ください

市では、市内4地区に地域包括支援センターを設置し、看護師、社会福祉士及び主任ケアマネジャーなど専門のスタッフが中心となり、高齢者の総合的な支援に取り組んでいます。

介護などを必要とする高齢者や家族の人でお悩みのことや不安に思うこと、高齢者虐待、高齢者を狙った悪徳商法などでお困りのことなどありましたら、お気軽に最寄りの各センターへご相談・ご連絡ください。

地区	担当地域	センター名称	電話	所在地
東部	串良地区全域	東部地区地域包括支援センター	0994-40-3751	笠之原町 1910 番地 2
	鹿屋東中学校区	東部地区地域包括支援サブセンター	0994-62-8871	串良町有里 507 番地 1
西部	第一鹿屋中学校区 花岡中学校区	西部地区地域包括支援センター	0994-40-9855	大浦町 14028 番地 6
南部	吾平地区全域	南部地区地域包括支援センター	0994-58-5900	吾平町麓 3811 番地 2
	田崎中学校区	南部地区地域包括支援サブセンター	0994-48-2800	大始良町 226 番地
	大始良中学校区 高須中学校区			
北部	輝北地区全域	北部地区地域包括支援センター	0994-40-8333	下祇川町 1800 番地
	鹿屋中学校区 高隈中学校区	北部地区地域包括支援サブセンター	099-485-1185	輝北町市成 2121 番地 3

【問い合わせ】市高齢福祉課(1階⑧番窓口) ☎0994-43-2111 内線 3750

介護予防のために生活機能のチェックをしましょう

～いつまでも健やかに暮らすために、生活機能評価を受けましょう～

生活機能評価とは、心や体の動き（心身機能）だけでなく、日常生活をおくるための家庭や社会での活動も含む「生活機能」が低下していないかをチェックするものです。

高齢になると心身の機能は低下してきますが、心身の機能を使い続けることで低下を防ぎ、向上させることもできます。高齢期をいつまでも健やかに過ごすために、下記の生活機能評価チェック項目表で生活機能のチェックをしましょう。

●生活機能評価チェック項目表 ※No. 21～No. 25 はここ2週間の状態で判断してください。

生活機能	項目	回答	状態
日常生活動作	1 バスや、電車などでひとりで外出していますか。	はい	いいえ
	2 日用品の買い物をしていますか。	はい	いいえ
	3 預貯金の出し入れをしていますか。	はい	いいえ
	4 友人の家を訪ねていますか。	はい	いいえ
	5 家族や友人の相談にのっていますか。	はい	いいえ
運動器の機能	6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	はい	いいえ
	7 いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	はい	いいえ
	8 15分くらい続けて歩いていますか。	はい	いいえ
	9 この1年間に転んだことはありますか。	はい	いいえ
栄養状態	10 転倒に対する不安は大きいですか。	はい	いいえ
	11 6か月で2～3Kg以上の体重の減少がありましたか。	はい	いいえ
口腔機能	12 BMIが18.5以上ですか。 ※ BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)	はい	いいえ
	13 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい	いいえ
	14 お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい	いいえ
その他	15 口の渇きが気になりますか。	はい	いいえ
	16 週に1回以上は外出していますか。	はい	いいえ
	17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	はい	いいえ
	18 周りの人から『いつも同じことを聞く』などの物忘れがあるとされますか。	はい	いいえ
	19 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	はい	いいえ
	20 今日が何月何日かわからない時がありますか。	はい	いいえ
	21 毎日の生活に充実感がない。	はい	いいえ
	22 これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。	はい	いいえ
	23 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。	はい	いいえ
	24 自分が役に立つ人間だと思えない。	はい	いいえ
	25 わけもなく疲れたような感じがする。	はい	いいえ

黄色()の部分にチェックがある人は、生活機能の低下の可能性があるので予防が必要です。生活機能の低下を防ぐ筋力向上トレーニング事業やその他介護予防事業などがありますので、詳しくはお問い合わせください。



【問い合わせ】市高齢福祉課（1階⑧番窓口） ☎ 0994-43-2111 内線 3750

世界禁煙デー・禁煙週間

WHO（世界保健機関）は毎年5月31日を「世界禁煙デー」と定め、世界中の人々にたばこが体に与える影響について認識を高めるよう呼びかけています。

また、5月31日（日）から6月6日（土）までは「禁煙週間」となっており、市でも、たばこが健康に及ぼす影響についての普及啓発や、未成年者の喫煙防止、受動喫煙（他人のたばこの煙を吸わされること）の防止に取り組みます。

皆さんも、たばこが健康に及ぼす影響について、もう一度考えてみましょう。

【問い合わせ】

市健康増進課
☎ 0994-41-2110

民の皆さんもこの機会に、毎日の生活に欠かすことのできない水道の大切さを見直し、水道水源の「水質保全」に、より一層のご理解とご協力をお願いします。

新刊図書のご案内

市立図書館
☎ 0994-43-9380

こいしり 島中恵著
商人 ねじめ正一著
ステップ 重松清著
メタボリック症候群 小田原雅人著
それでも世界一うまい米を作る 奥野修司著
まいにちできること 廣瀬裕子著
たつくんのおてつだい 小菅正夫著
オオカミの森 ひみつのカレーライス 井上荒野著
コミュニケーションセンター
吾平振興会館図書室
☎ 0994-58-6036
聖女の救済 東野圭吾著
涙の理由 重松清・茂木健一郎著
人間の覚悟 五木寛之著
こうちゃんのお料理レシピ5 相田幸二著

くいしんぼうのはなごきん いしいもこ著
地図男 真藤順丈著
バスがきました 三浦太郎著
輝北コミュニケーションセンター図書室
☎ 0994-486-0505
もう一軒おつまみ横丁さらにおいしい酒の肴185 瀬尾幸子著
スノーピーたちの人生案内 チャールズ・M・シユルツ著
結婚しなくていいですか。 益田ミリ著
ホームレス大学生 田村研一著
お月さまってどんなあじ？ ミヒヤエル・グレイニエック著
めつきらもつきらどおんどん 長谷川摂子著

申良公民館図書室
☎ 0994-63-2623
マイ・ドリーム バラク・オバマ著
チャイルド44（上・下） トム・ロブ・スミス著
ぼくのしょうぼうしゃ 竹下文子著
妖怪アパートの幽雅な日常9 香月日輪著
まめうしとひめうし あきやまただし著
ねぼすけスライザのセーター 広野多珂子著
三味線さんまい 群ようこ著

4月の鹿屋市地区別子牛のせり市結果（売却のみ）

地区名	性別	頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	消費税込価格
						平均体重(kg)
鹿屋地区	めす	142	267,746	644,000	93,000	260
	去勢	198	394,677	596,000	197,000	298
吾平地区	めす	55	301,182	749,000	121,000	262
	去勢	61	409,033	657,000	201,000	299
申良地区	めす	168	293,024	587,000	90,000	253
	去勢	261	393,418	647,000	130,000	288
輝北地区	めす	74	306,486	701,000	89,000	272
	去勢	107	420,290	604,000	157,000	306



広告の広場

このコーナーは、各事業所の広告を掲載し、地域活性化と市民の皆さんへの情報提供を目的としたものです。
また、市の自主財源確保の一環として行われるものです。

【広告の申し込み・問い合わせ先】
(株)新生社印刷 ☎ 0994-43-2238

粗大ゴミ 事業系ゴミ



株式会社カナザワ
鹿屋市下祓川町3568-1
☎ 0994-41-1717
http://www.41-1717.jp/

お気軽にお電話下さい **賃貸物件総合管理業**



(株)ユアーホーム

(旧 株式会社イリアス)

- ◆本社 〒893-0067 鹿屋市大浦町11384番地2
TEL 0994(43)2500 FAX0994(42)2122
- ◆鹿屋西原店 〒893-0064 鹿屋市西原4丁目14番36号
TEL 0994(42)2121 TEL 0994(40)5555
FAX0994(42)5000
- ◆国分中央店 〒899-4332 霧島市国分中央1丁目5番5号
インペリアルコート国分1F
TEL 0995(45)4558 FAX 0995(55)0091

ホームページ <http://www.e-your-home.com>



Shinseisha Printing Co., Ltd.

守ります、情報セキュリティ。



鹿屋市礼元1-22-34 TEL (0994) 43-2238 FAX (0994) 43-7541
URL <http://www.shinsei-p.co.jp> E-mail kan@shinsei-p.co.jp

有機無農薬で丁寧に育てた香り高いばらダマスカ系「ロサ・ダマツセナ」と優良なさつま芋を使用し、ばらの焼酎を造り上げました。高貴でほのかなばらの香りをお楽しみください。

薔薇の贈りもの
薔薇とさつま芋を使用し、匠の技が融合して造り上げました。

大波酒造協業組合
鹿屋市白崎町21番1号
TEL 0994-44-2190(代)

あらゆるスペースを 情報メディアに。



- ・野立看板・袖看板・バラベツ看板・壁面看板・A型看板
- ・ポール看板・屋上広告塔・電照看板・懸垂幕・横断幕・バナー
- ・タペストリー・のぼり旗・カーマーキング・マグネットシート
- ・ステッカー・プレート・ウィンドーサイン・スタンドサイン
- ・立体文字・ネオンサイン・Tシャツなど

鹿児島県鹿屋市礼元1-23-3 TEL 0994-41-3741 FAX 0994-41-2558

1級・2級 水上バイク 船舶免許取得へ!

学科会場：花岡地区公民館
実技会場：古江港

1級	20t未満 距離無制限	学科 6/13(土)・14(日)・20(土)・21(日)	朝9:30~夜7:00	進級	20t未満 距離無制限	学科 6/20(土)・21(日)	朝9:30~夜7:00
コース 148,200円		実技 6/27(土)・28(日) ※いずれか1日受講	4時間受講	コース 44,000円		※2日間だけ受講 朝9:30~夜7:00	
2級	20t未満 距離5海里	学科 6/13(土)・14(日)	朝9:30~夜7:00	水上バイク	74,600円	学科 6/13(土) 昼1:00~	
コース 124,700円		実技 6/27(土)・28(日) ※いずれか1日受講	4時間受講	(特殊小型)免許	試験免除	実技 6/14(日) 昼間2時間講習で終了!	

船舶免許更新・失効講習会 5/25(日) *写真2枚(白黒・カラー) *船舶免許 *お電話にてお申し込みください。
*詳しくはお電話下さい TEL.43-2853

マリンスクール 鹿屋海技
代表 眞信 島田
〒893-0064 鹿児島県鹿屋市西原2-11-11
TEL.0994-43-2853 FAX.0994-43-5987
主催 JEIS 財団法人 日本船舶職員養成協会九州支部

5月・6月の休日救急当番医

※休日救急当番医の診療は、急病に対する応急処置ですので、翌日はかかりつけの医師などの診療を受けてください。原則として、投薬期間は通常1日分とします。

◇鹿屋市医師会 診療時間 午前8時30分~午後6時

月日	医療機関	住所	電話(0994)
5月17日	④中塩医院	西原1丁目	43-2489
	⑥徳田脳神経外科病院	打馬1丁目	44-1119
24日	④吉重内科消化器科	西大手町	41-3100
	⑥よしどめ整形外科	川西町	31-1700
31日	④伊東クリニック	礼元2丁目	43-3500
	⑥検見崎病院	西原1丁目	43-2991
6月7日	④みやぞのクリニック	田崎町	40-4600
	⑥小倉記念病院	寿8丁目	44-7171
14日	④末次内科循環器科	新生町	43-2331
	⑥大隅鹿屋病院	新川町	40-1111
21日	④鹿屋ハートセンター	礼元2丁目	41-8100
	⑥小林クリニック	上谷町	41-0700

④…内科 ⑥…外科

◇肝属東部医師会 診療時間 午前9時~午後5時

月日	医療機関	住所	電話(0994)
5月17日	入佐内科	吾平町麓	58-7006
	児玉医院	東串良町川東	63-8522
24日	高山胃腸科外科	肝付町前田	65-7171
	はらだ整形外科	東串良町池之原	63-8080
31日	春陽会中央病院	肝付町新富	65-1170
	岩重医院	東串良町川東	63-8514
6月7日	山内クリニック	肝付町前田	65-8181
	花田整形外科リウマチ科医院	串良町有里	63-1379
14日	上野医院	肝付町前田	65-0921
	黎明脳神経外科医院	串良町上小原	63-7878
21日	吉川医院	肝付町前田	65-2022
	児玉医院	東串良町川東	63-8522

5月・6月の歯科休日急患在宅医

◇鹿屋市歯科医師会 診療時間 午前9時~午後3時

月日	医療機関	住所	電話(0994)
5月17日	近藤歯科医院	西原4丁目	44-5373
24日	池田病院歯科	下祓川町	43-6468
31日	おおやま歯科クリニック	寿4丁目	43-3210
6月7日	上村歯科医院	田崎町	44-6077
14日	クリス歯科	白崎町	41-3931
21日	安楽歯科	寿5丁目	44-2220

※休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医は、変更になることがあります。各医療機関にご確認のうえ、受診してください。

■テレホンガイドかや ☎0994-42-4000

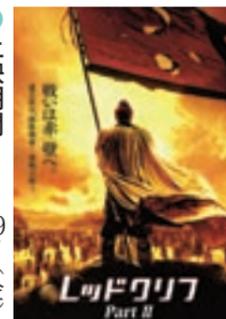
(平日) イベント等を案内
(休日) 休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内

■大隅肝属地区消防組合テレホンサービス ☎0994-43-0119

(平日) 午後5時から夜間当番医を案内
※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。
(休日) 休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内

リナシアター 映画情報

●映画「レッドクリフ Part II」



●上映期間 5月29日(金)まで
※上映期間は延長する場合があります。

●上映時間 (144分)
① 10時
② 13時
③ 16時
④ 19時

●鑑賞料
一般 1,800円
大学・高校生 1,500円
中学生以下 1,100円
60歳以上 1,000円
※上映時間、鑑賞料は変更する場合があります。

ご意見をお聴かせください

鹿屋市地域公共交通活性化協議会では、現鹿屋バス停留所の見直し案として、
①現鹿屋バス停留所にバス待合施設を整備
②城山公園駐車場(北田町)にバスセンターを整備の2つの叩き台を検討しています。協議会では、この議論の参考とするため、この2つの叩き台に対するご意見やその他のご意見など、市民の皆さんの幅広いご意見をお待ちしています。

●検討の目的

交流人口の増加促進等による地域活性化やバス利用者の利便性を確保するため、「大隅地域の表玄関」、「鹿屋市の顔」にふさわしい機能・施設等の整備を行うなど、現鹿屋バス停留所の見直しを行うもの。

●意見を提出できる人

鹿屋市に居住している人又は勤務している人

●閲覧場所

市企画調整課、情報公開室、各総合支所地域振興課、各出張所
※閲覧時間=平日8時30分~17時
※市ホームページからも閲覧できます。

●閲覧及び意見公募期間

5月15日(金)~29日(金)

●意見の提出方法

意見提出用紙に必要事項を記入のうえ、直接持参、郵送(必着)、FAX又はEメールで提出してください。
※意見提出用紙は、各閲覧場所に置いてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

【問い合わせ・提出先】

〒893-8501 鹿屋市共栄町20番1号
鹿屋市地域公共交通活性化協議会事務局
(市企画調整課内・3階)
☎ 0994-31-1125 FAX 0994-42-2001
Eメール kikaku@e-kanoya.net

今月の表紙



4月23日、かのやばら園で「ばらの開花宣言」が行われ、南部幼稚園の園児による合唱が披露されました。

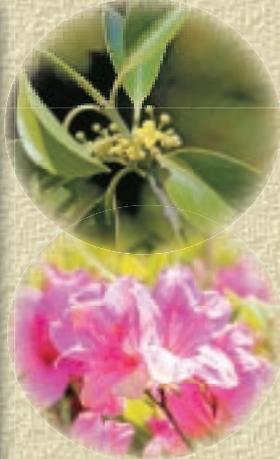
当日は、保護者や関係者のほか、一般の入園者が見守る中、39人の園児が手話を交えながら2曲を合唱。輝く太陽の下で、美しいばらに囲まれながら楽しそうに歌う園児たちの歌声が、ばらの開花に華を添えていました。

(関連記事 P15)



鹿屋探訪 No.41

横尾岳公園



「ひぜんまゆみ」の花

標高426mの横尾岳公園は、錦江湾、志布志湾、桜島、開聞岳と360度の大パノラマを望める絶景スポットです。頂上付近一帯は春にかけて山桜のほか、4,000本のヒラドツツジが赤、白、ピンクの花を咲かせます。

また、昭和63年に市の天然記念物に指定された「ひぜんまゆみ」という珍しい樹木が自生しています。この樹木はニシギキ科の植物で、県内では薩摩半島野間池近くと大隅半島にそれぞれ若干本自生していますが、なかでも横尾岳には9本も生えています。春に淡緑色の花を咲かせ、さく果は、晩秋に黄色く熟しなめらかで、種子は、オレンジ色の仮種皮に包まれています。

【問い合わせ】
公園課
☎0994-31-1148

鹿屋市ラジオ広報番組「かのや市政インフォメーション」

市では、イベント情報、市の施策等を紹介するラジオ広報番組を放送しています。

- 放送局=FMかのや (77.2MHz)
- 放送時間=概ね8時5分～ 概ね16時5分～
- 放送日=毎週月曜日から 金曜日(祝日を除く)



市の花「ばら」

人口と世帯数
平成21年4月1日現在

総数	103,979人	対前月比 (-1,202)
男	49,145人	(-654)
女	54,834人	(-548)
世帯数	44,473世帯	(-346)

面積 448.33 km²

広報かのや 平成21年5月13日発行 No.081
発行/ 鹿屋市役所 編集/ 総務部秘書広報課
〒893-8501 鹿屋市共栄町20番1号
☎0994-43-2111

吾平総合支所 吾平町麓 3317番地 ☎0994-58-7111
輝北総合支所 輝北町上百引 3914番地 ☎099-486-1111
串良総合支所 串良町岡崎 2059番地 ☎0994-63-3111

鹿屋市ホームページ
<http://www.e-kanoya.net/>



小野 タミさん(100歳)本町
日中は、新聞を広げて活字を拾い読みするなどして過ごしているそうです。



村場 静子さん(77歳)串良町有里
村場 モモエさん(72歳)串良町有里
「夫がいとご同士です。一緒に健康体操とグラウンドゴルフをしています。」



「みんな元気」は、子どもはもちろん、高齢者やグループ、同好会などの皆さんを掲載するコーナーです。皆さんの元気いっぱいの写真を広報紙に掲載してみませんか。詳しくは、秘書広報課(☎0994-31-1123)までご連絡ください!



平山 エミ子さん(73歳)串良町岡崎
趣味は洋裁です。

田中 いよさん(72歳)串良町岡崎
健康の秘訣は犬の散歩と琴です。



小竹 蒼空くん(11か月)吾平町麓
「元気にすくすく育ってね!」
父&母